

民族薬物資料館 一般公開

民族薬物資料館の一般公開は今年で 11 回目を数える。例年どおり、一日 5 回、各回 1 時間、館内を案内しながら、漢方薬、和漢薬、健康食品原料、インド薬物などについて解説し、また民族薬物データベースの使い方を説明した。今年もポスター掲示を行い「ガジュツの精油成分による品質評価」について研究内容の説明を行った。来館者総数は 65 名を数え、真剣に話を聞かれていた。講演会には、広島大学薬学部附属薬用植物園より神田博史先生をお招きし、『越中富山で笑薬売り－安上がり健康長寿の秘訣－』と題してご講演いただいた。会場に集まった 52 名の参加者は、先生の話に興味深く傾聴していた。講演の内容は薬日新聞（2009 年 1 月 1 日版）に 4 ページにわたって掲載された。なお、この講演会は、文部科学省知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）広域化プログラムと共同で開催した。

公開日：2008 年 11 月 1 日（大学祭期間中）

1. 一般公開をどのように知りましたか？

新聞	1
ポスター	3
ホームページ	10
人に聞いた	4
案内状	21
その他	1

- ・ 処方されたことのある漢方について知らなかったが、次回からもっと試したい。
- ・ 身体の本来的な力と呼び戻すような効能を感じた。
- ・ 人間も自然界の一部である。
- ・ 体質改善にも役立ちそうだ。
- ・ 元の植物の形を知りたい。

2. 説明はどうでしたか？（複数回答可）

わかりやすかった	27
わかりにくかった	0
もっと詳しく知りたい	12
もっと簡単な説明がいい	0
難しかった	3
その他	0

4. 一般公開に参加された感想を一言お書き下さい

- ・ 生薬標本の数の多さに驚いた。
- ・ 次回もまた参加したい。
- ・ 素晴らしい標本を見せてもらって勉強になった。
- ・ 素晴らしい資料館、説明も勉強になった。
- ・ 興味深かった。
- ・ 為になった。
- ・ 見たことのない動物生薬が見られて面白かった。
- ・ 老齢の方が多いので腰掛けなどの用意があれば良い。
- ・ 皆様のお世話に感謝したい。
- ・ 説明も色々と増えており、質問などにも答えてもらえ、毎年楽しい。
- ・ 本当に面白く楽しく勉強させてもらった。
- ・ 見たことのないものがたくさんあって面白かった。意外なものが薬になっていて驚いた。
- ・ 薬学だけでなく、医学の方も展示公開して欲しい。
- ・ もっとゆっくり時間をかけてみたい。
- ・ 富山大学でこのような研究内容を初めて知った。

3. 生薬にどのような興味をお持ちですか？

- ・ 家庭薬配置業を営むので参考になった。
- ・ 「人参」に興味がある。
- ・ 普段は気にしていない草や木などが薬になることに驚いた。
- ・ 富山は売薬が全国的に有名で、自身も風邪をひいた際にはよく利用している。西洋医学とは違うこともあり、これから漢方薬を学びたい。
- ・ 西洋医学との併飲の効用。
- ・ 薬草等の調合により効果の程度が異なる点。
- ・ 生薬の見分け方。
- ・ 動植物また鉱物がどのように使用され、どのような成分が含まれているか等。
- ・ 長い歴史を感じた。
- ・ 未病に関心がある。
- ・ 漢方薬についてもっと知りたい。

（文責 小松かつ子）

和漢医薬学総合研究所の部局学術交流協定

和漢医薬学総合研究所は、2005年に中国・寧夏医科大と部局間学術交流協定を締結した。これにより本研究所と学術交流協定を締結している国外研究機関数は7ヶ国（韓国, エジプト, ネパール, タイ, 中国, モンゴル, インド）15研究機関に達した。これらの研究機関との間で天然薬物に関する国際的な研究交流（学生交流, 研究者交流, 共同研究, 学術情報交換）を推進している。

協定締結国	協定締結機関
韓国	ソウル大学天然薬物化学研究所, 圓光大学薬用資源研究センター, 東國大学韓医学研究所
エジプト	カイロ大学薬学部
ネパール	トリブバン大学理工学研究所, ポカラ大学
タイ	シラパコーン大学薬学部, コンケン大学薬学部
中国	南京中医薬大学薬学院, 南京大学化学化工学院, 大連理工大学化工学院, 遼寧中医学院薬学院・中薬研究所, 寧夏医科大学
モンゴル	モンゴル国立大学生物学部
インド	伝統医学活性化財団